

全国一般全国協

2018年3月12日 No.141
全国一般労働組合全国協議会
編集発行人 渡辺啓二
東京都港区芝2-8-13 KITA-M芝3F
TEL 03-6453-7858 FAX 03-6453-7857
URL: http://www.nugw.jp/
Email: nugw@nugw.jp



1/27 各県代表者会議 (第23回) @京都市南区

1/27 各県代表者会議 (第23回) @京都市南区
積極的に担っていき③憲法

安倍政権は、あたかも裁量労働制のほうか労働時間短縮であるかの如く、
安倍政権は官僚に責任を押し付けず、内閣退陣！責任をとれ！
国会でウソを言った。一方、森友夫婦を「詐欺罪」という「微罪」で逃亡の

追いつめよう！
裁の極みである。許さず

8時間働けば生活できる賃金を！
全国一般全国協は、1月27～28日の各県代表者会議(京都)、2月4日の北関東・東北・長野春闘討論集会(郡山)、2月17～18日の西日本春闘

貧困と格差拡大の「安倍働き方改革」を許さない！！
全国キャラバン行動で、18春闘に勝利しよう！！
改悪のための「発議」を許さず、戦争法廃止！「共謀罪」廃止！18けんり春闘実行委と共に安倍

- 春闘日程
- 3/14(水)～19(月) 福島連帯キャラバン 主催：平和フォーラム
 - 3/17(土) 福島県民大会 @植葉町天神岬公園
 - 3/21(水・休) さようなら原発集会 @代々木公園
 - 4/6(金) けんり春闘総決起集会 @銀座プロッサム



@上野水上音楽堂からマーチ

3/4 「ニコにある多文化・多民族共生社会」
マーチインマーチに280人
3月4日、上野水上音楽堂でマーチ・イン・マーチ2018が開催され、280人が参加しました。集会は四名の移住労働



「しあわせの庭」福山市曙事業所

大し、反撃戦を闘っていることが報告された。質疑が飛び交うことに問題だらけのタクシー業界の共通の課題が浮かび上がり、共に闘う決意が高まった。交流会でヤサカ交通労組の仲間は、自

2/22 あらかぶ裁判の報告 第6回口頭弁論
あらかぶさんは、人前での発言で、『だいたい慣れきただけねえー』

その後の報告会や交流会では、大阪の交流会では熱烈ファンがでぎ大阪支える会をつくらうと話

各県代 ヤサカ交通支援交流会で、
活発な議論をおこなう
1月28日13時から、ヤサカ交通内の組合事務所

障がい者A型事業所「しあわせの庭」
破産・解雇問題 福山ユニオンたんぼぼ
広島県の障がい者A型事業所4ヶ所、昨年11月16日突然閉鎖、利用していた障がい者一〇六人と職員約三〇人が一斉に解雇されるとい問題が起きた。経営は一般社団法人「しあわせの庭」で、



「報告集会」@参議院議員会館 (撮影：片岡遼平氏)

裁判の争点は「実際の被曝線量」と「被曝と白血病の因果関係の立証」問題だ。裁判長は、東電・九電主張寄りの認識で「前提事実整理」を出してきた。さらに進行協議を提案して3月30日に決まった。

その後の報告会や交流会では、大阪の交流会では熱烈ファンがでぎ大阪支える会をつくらうと話

18春闘 2月17日、18日、北九州の真鶴会館で、「2018西日本春闘討論集会」が開催されました。

最初に、全国一般福岡地域の山岡委員長が代表挨拶を行いました。その後、JAL争議団、福島原発被ばく労災「あらかぶさん」裁判、20条裁判で勝利判決を勝ち取った九水運輸分会、ユニオン



18春闘 2・17～18 西日本春闘討論集会

@北九州真鶴会館

その後、中岡全労協事務局長から、18春闘をめぐる情勢と方針が報告されました。そして岐阜一般労組の本間委員長が「労働組合の今日的役割とは何か？」をテー



マに講演を行い、合同労組とその組織化についてわかりやすく語りました。

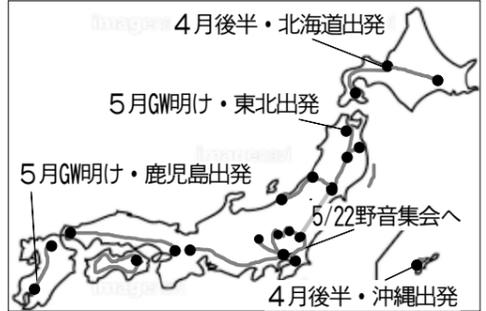
2日目は、参加している各労組からの報告が行われました。最後に山岡委員長の団結カンパローで2日間の集会を終えました。

働き方改革一括法案を廃案へー1日8時間生活できる賃金を 全国キヤラパンを成功させよう!!

政府・財界の総力を挙げた労働時間規制破壊は、安倍成長戦略の破綻を背景に、瀬戸際の攻防戦になっている。データ偽造が明らかになり、裁量労働拡大は取り下げたものの、本丸の高度プロフェッショナル制度の導入の一括法案提出を強行する構えだ。時間規制破壊は、労働者の命と健康の破壊である。政府・財界の混乱を突いて、一括法案廃止への追撃戦へ打って出よう。

全国から、長時間、ただ働きに苦しむ現場の声をつなぐキヤラパン行動が立ち上がった。ナショナルセンターの枠を越えた多くの労働組合の賛同を得て、全国各地で一括法案反対の声を広げる全国運動で、国会審議のヤマ場の5月22日に東京日比谷公園での大集会を実現させようと計画している。

全国キヤラパン結団式・



18最賃キャンペーン 全国一律1500円をめざす!!

全国一律1500円をめざし、今すぐ、どこでも1000円以上の最低賃金を実現しよう。

1月の各県代表者会議の際に京都キャンパスプラザで開催した最低賃金交流会には、全国から20名が参加し、それぞれの資料を基に意見交換を行

い、日本の最低賃金は絶対額の低さとともに、地域間格差の拡大を問題視し、全国一律最低賃金を目指すことを確認した。

最低賃金の地域格差について、福井県の西川知事は6月の県議会で、フランスが全国一律であることに触れつつ「最低賃

結成集会を4月17日東京連合会館で開催し、第一部は4月後半に北コース

金の格差が東京一極集中を誘引し、地方から人口が流出する恐れがあり、制度のあり方を見直すべきた」と述べた。この発言にみられるように、地方議会や地方の自治体においても、最低賃金の地域間格差が大きな問題になってきている。

18春闘 北関東・東北・長野ブロック 春闘討論集会 @郡山中央公民館

2月4日(日)午後1時から、福島県郡山市で春闘討論集会&除染労働

者未払い賃金裁判の勝利和解報告・支援御礼の集いが開催されました。

全国一般全国協の嶋田中執の司会で約45名が参加。渡辺書記長より、働き方改革法案の問題点や労働法制の改悪をさせない闘い、8時間働けば生活できる賃金を目指す闘い、最低賃金や非正規労働者の大幅賃上げと均等待遇の実現の闘い、3千万人署名による憲法改悪を阻止する闘いなど、

18春闘情勢と行動方針が示されました。

また、けやき法律事務所、除染労働者未払い賃金裁判の勝利和解報告があり、福島第一原発事故に伴う除染作業で、本来受け取っているべき賃金(会社都合による休業手当など)を支払わせると訴えて勝利した6名の方々も参加し交流会が行われました。

参加組合や団体、裁判原告からの報告と発言があり、地元東北の仲間の方々の準備して下さった食事を頂きながら交流を深めました。

(昭和電気鋳鋼労働組合 執行委員長 檜野皮謙)

2・20 フジビ争議の勝利和解かちとる

「フジビ争議」は2月20日、中労委の勧告による和解で解決した。

労働委員会規則第45条の8に基づく中労委勧告は、富士美術印刷(フジビ)への雇用要求を退ける人間らしく生活するためには、時給1500円以上が必要だ。今後、中央最低賃金審議会に対する署名の取り組み、意見書の提出、地方最賃審議会に対する意見書提出、傍聴、意見陳述などに取り組みとともに、大手コンビニ3社に対する募集賃金引き上げの要請行動にも引き続き取り組むなど、最低賃金の大幅引き上げに向けて全国各地で取り組もう。

「フジビ争議」は2月20日、中労委の勧告による和解で解決した。労働委員会規則第45条の8に基づく中労委勧告は、富士美術印刷(フジビ)への雇用要求を退ける人間らしく生活するためには、時給1500円以上が必要だ。今後、中央最低賃金審議会に対する署名の取り組み、意見書の提出、地方最賃審議会に対する意見書提出、傍聴、意見陳述などに取り組みとともに、大手コンビニ3社に対する募集賃金引き上げの要請行動にも引き続き取り組むなど、最低賃金の大幅引き上げに向けて全国各地で取り組もう。

「フジビ争議」は2月20日、中労委の勧告による和解で解決した。労働委員会規則第45条の8に基づく中労委勧告は、富士美術印刷(フジビ)への雇用要求を退ける人間らしく生活するためには、時給1500円以上が必要だ。今後、中央最低賃金審議会に対する署名の取り組み、意見書の提出、地方最賃審議会に対する意見書提出、傍聴、意見陳述などに取り組みとともに、大手コンビニ3社に対する募集賃金引き上げの要請行動にも引き続き取り組むなど、最低賃金の大幅引き上げに向けて全国各地で取り組もう。

18春闘 2・25 春闘学習会の報告 全国一般神奈川 @エルプラザ

18春闘にむけて、2月25日、Lプラザで22名の参加者により春闘学習会を開催しました。

冒頭、沢口委員長から、春闘とは、自分たちの労働条件の向上や職場環境の改善を求めて、各職場で現状の課題を集約して会社に要求書を出し、交渉によってそれを実現し

18春闘 2・16 大阪ユニオンネット 春闘決起集会 @エル大阪

去る2月16日、エル大阪で、おおさかユニオンネットワークの18春闘決起集会が開催された。

今回の講演は「2018年問題」。17年間派遣社員として働き、無期雇用になる直前に雇止めとなった渡辺照子さん。職場は「派遣労働は物扱い」という厳しい環境であった。シングルマザーとして働き、2人の子どもを育てたことなどリアルな体験を聞く。

つづいて特別報告として藤原航弁護士が、「働き方改革」の問題点を指摘する。更に特別アピールとして「今年中の解決」



今回の講演は「2018年問題」。17年間派遣社員として働き、無期雇用になる直前に雇止めとなった渡辺照子さん。職場は「派遣労働は物扱い」という厳しい環境であった。シングルマザーとして働き、2人の子どもを育てたことなどリアルな体験を聞く。

つづいて特別報告として藤原航弁護士が、「働き方改革」の問題点を指摘する。更に特別アピールとして「今年中の解決」

者の勝利と言えよう。また、親会社で元請のフジビに対し「労組法7条の使用主として『雇用主以外の事業主』でも労働条件を支配、決定する地位にある」と、使用者性の拡大を求める困難な闘いに挑んだ意義は大きい。

解決翌日の支援共総会では「資本による労働組合つぶしを許さず、反動化した司法の攻撃に屈せず、現場闘争を軸に地域で闘い、労働運動が後退を余儀なくされる中、その突破口を切り開き争議解決を勝ち取った。」との総会宣言を確認した。

(全国一般東京労組・フジビグループ分会)



日等に関する法令違反のチェックや、労働者間が競争と分断に晒されないよう生活給の視点による賃金体系の要求が報告されました。職場の実態に則した要求をまずは提出すること、すべでの職場で春闘の第一歩を踏み出すことを確認しました。

を訴えたJAL争議団。業者団体の10億円もの資金を援助受けた、ネオナチ・排外主義勢力から執拗な組合破壊攻撃に立ち向かう全日建連帯労組関西生コン支部、分会長が襲撃を受けた奈良のエムケイ運輸の発言を経て、郵政ユニオン、教育合同労組、ケアワーカーズユニオン、なにわユニオンなどがアピールした。

3月14日は大阪総行動、行政への申し入れや企業の追及など総力で闘おう。

